第３７号　入谷小学校　コミュニティ・スクール通信　２０２１年(令和３年)　１１月１５日　発行

いりゃ通信

第３７号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部

ホームページ
へのQRコード

伝統を受け継ぎながら

地域の固い絆に支えられ

11月11日(木)14時30分、体育館のアリーナに響き渡る笛と太鼓の音色、それに合わせて打囃子の衣装をまとった子供たちが舞い踊ります。7名の講師の方々と阿部勉公民館長をはじめとした生涯学習課４名を迎えての『入谷打囃子学習会閉講式』が行われました。阿部公民館長の挨拶の中で、「コロナ禍において発表の機会が少なくなりましたが、入谷に受け継がれている伝統芸能を各行政地区での練習に生かしてほしい。」とのお話をいただきました。式には、学校評議委員の榊美江様、阿部雅美様にお出でいただきました。各地区での打囃子の集まりが、地域の結束(結い)を固くし、防災の力や地域の総合力となっている源と感じました。

舞を中心にした演技

大太鼓と小太鼓，笛の演奏

獅子とあやしの子供たち

意識向上に努めます

11月11日(木)9時40分より火災想定の避難訓練が行われました。11月は火災予防運動期間でもあり、この時期に火災について子供たちに注意しておくことで火遊びなど火事の原因となる行為は危険であり、自分の命までも失う可能性があることを教える機会となりました。訓練には南三陸消防署より、高橋厚浩署員、小野達也署員、梅木雅也署員が来校して避難訓練と少年消防クラブ活動の一環として行っている消火活動体験の指導をしていただきました。体験活動は、6年生11名が全員行い、火を消すことの難しさを体験しました。子供たちには貴重な経験となりました。また、職員へは「学校の消防設備を有効に活用するために使用法の習得や消防署との打合せ等を検討してほしい。」とのお話をいただきました。学校全体で火災予防の意識向上に努めていきます。

高橋さん，小野さん，梅木さん

整然と避難しています

団長より，お礼の言葉

校長先生のお話

消火体験の様子

消火器の説明

御応募ありがとうございます

入谷小学校では、いじめは「どの子にも起こりうる」という認識に立ち、いじめを許さない学校づくりに励んでいます。日頃より、いじめの未然防止を図り、いじめの早期発見・早期対応に努めています。そのために、学校・保護者・地域が連携していじめの問題に取り組む必要があります。今年度も、第15回「いじめ防止標語コンテスト」に参加をすることといたしました。家族で「いじめ」について話題とする機会となればと思います。参加の趣旨を御理解の上、11月5日に配布いたしました応募用紙に作成し、学級担任まで提出をお願いします。11月19日までとなっています。

自然を慈しみ

11月4日(木)3校時に2年生活科でフラワーアレンジメントの体験活動がありました。今回も菊栽培でお世話になった水口沢在住の西城正人様に講師を引き受けていただきました。西城様からは、「かすみ草は、最後に飾るよ。」「最初は自分でいいと思った花を真ん中にして…」など作業の手順を話していただきました。子供たちは、段々夢中になっていき、とてもきれいな作品に仕上げていました。西城様は、「草花にふれあいながら自然を慈しむ心が育ってほしい。」との願いをもっています。子供たちの「(家に持ち帰って)家族に見せるんだ。」「お母さんにプレゼント。」などの声が聞こえてきました。西城様の心が子供たちに通じたように思われました。

西城正人様